



## 2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社ピー・ビーシステムズ 上場取引所 東 福  
コード番号 4447 URL <http://www.pbsystems.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 和久  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 彌永 玲子 TEL 092-481-5669 (代表)  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年9月期第1四半期の業績 (2024年10月1日～2024年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	704	16.7	47	△31.9	47	△32.1	30	△34.5
2024年9月期第1四半期	603	15.8	70	—	69	—	46	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	4.86	4.79
2024年9月期第1四半期	7.21	7.10

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	1,890	1,247	66.0
2024年9月期	2,872	1,436	50.0

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 1,247百万円 2024年9月期 1,436百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年9月期	—				
2025年9月期 (予想)		0.00	—	10.00～12.50	10.00～12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年9月期の業績予想 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,420	10.0	380	4.9	376	3.8	256	0.3	41.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期1Q	6,583,500株	2024年9月期	6,583,500株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	500,095株	2024年9月期	240,295株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期1Q	6,216,133株	2024年9月期1Q	6,395,401株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、一部に足踏みが残るものの景気は緩やかな回復基調で推移しました。情報通信業界も好調が続き、社会インフラを停止させるシステム障害やランサムウェアなどのサイバー攻撃が増加したことで、レジリエンス需要（情報システムの防御と回復の仕組み）が一段と拡大傾向にあります。

このような環境下、当社は当事業年度を「持続的な成長への基盤固め、成長のための準備を加速する一年」と位置づけております。人財採用・育成への積極的な投資を継続しつつ、「必須のレジリエンス」のコンセプトの推進、「2025年の崖問題」による基幹システムの刷新に伴う多様なクラウド化需要への対応、新規顧客開拓のためのマーケティングの強化に取り組みました。

IT人材の採用競争が激化している中、人財の採用は順調に進捗しました。第1四半期で3名を中途採用しました。通期では前事業年度と同様に、新卒・中途合計で10名を超える採用を予定しております。育成への取り組みも着々と強化しています。OJTを中心とした実践的な育成と、オンライン学習プラットフォームを活用した効率的な学習を組み合わせた独自のエンジニア育成プログラムを構築し運用するとともに、2025年6月を目途に今後の人員増に対応するためエンジニアハビタットを増床する予定です。

成長市場である半導体・AI・ゲーム業界に特化した営業の推進は、設備拡張やリプレースに伴うハードウェア需要を効果的に掘り起こしました。特に高性能サーバー・ストレージとレジリエンス向上を目的としたバックアップソリューションを組み合わせて販売したことが売上高の伸びに大きく貢献しました。

その結果、当第1四半期累計期間の業績は売上高が704,039千円（前年同期比16.7%増）となり過去最高を更新しました。先行投資によるコスト増等の要因もあり営業利益は47,747千円（前年同期比31.9%減）、経常利益は47,351千円（前年同期比32.1%減）、四半期純利益は30,205千円（前年同期比34.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (セキュアクラウドシステム事業)

セキュアクラウドシステム事業は増収減益でした。

半導体、AI、ゲームなどデジタル産業関連のハイブリッドクラウド案件に付随するハードウェア販売が好調でした。「2025年の崖問題」による基幹システム刷新案件も売上の増加に寄与しました。一方、前事業年度の第一四半期は高付加価値構築案件の割合が例年に比べて高かったことに加え、前事業年度中の採用による人員増と、ハビタット開設等の投資により原価及び販管費及び一般管理費が増加したため、セグメント利益は前年同期を下回りました。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は698,294千円（前年同期比16.7%増）、セグメント利益は134,871千円（前年同期比11.6%減）となりました。

#### (エモーショナルシステム事業)

エモーショナルシステム事業は増収減益でした。

防災・宇宙・スポーツ科学・シニア市場への展開、地方創生分野への導入、東京オフィスと福岡本社ショールームのMetaWalkers®体験コーナーを活用した実機デモによる営業活動を推進するとともに、既存顧客に向けた企業向けメタパースの提案活動に取り組みました。既存のMetaWalkers®リニューアル案件が寄与し、売上は前年同期を上回りました。一方、前事業年度に立てた投資計画と積極的な営業活動により当第1四半期の販売費及び一般管理費が増加したことに加えて、受注した案件の原価率がやや高めであったため、セグメント利益は前年同期を下回りました。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は5,745千円（前年同期比18.4%増）、セグメント損失は6,854千円（前年同四半期はセグメント損失4,272千円）となりました。

なお、全社営業損益は、各セグメントの営業損益の合計から、報告セグメントに分配していない全社費用80,270千円を差し引いた数値となっています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産の部は、前事業年度末に比べて982,700千円減少し、1,890,053千円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(前事業年度末に比べて1,186,404千円の減少)、現金及び預金の増加(前事業年度末に比べて435,878千円の増加)、預け金の減少(前事業年度末に比べて156,357千円の減少)、商品及び製品の減少(前事業年度末に比べて71,297千円の減少)、繰延税金資産の減少(前事業年度末に比べて8,476千円の減少)等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債の部は、前事業年度末に比べて793,429千円減少し、643,025千円となりました。これは主に、買掛金の減少(前事業年度末に比べて745,791千円の減少)、未払法人税等の減少(前事業年度末に比べて55,084千円の減少)、未払費用の減少(前事業年度末に比べて26,728千円の減少)、賞与引当金の増加(前事業年度末に比べて19,938千円の増加)、預り金の増加(前事業年度末に比べて16,893千円の増加)等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産の部は、前事業年度末に比べて189,271千円減少し、1,247,028千円となりました。これは、自己株式の取得による155,928千円の減少、配当金の支払による利益剰余金の減少63,548千円、四半期純利益の計上により利益剰余金が30,205千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	847,532	1,283,410
受取手形、売掛金及び契約資産	1,515,728	329,324
電子記録債権	2,366	9,389
商品及び製品	209,287	137,990
仕掛品	15,107	13,753
原材料及び貯蔵品	59	59
未収入金	—	40
前払費用	29,129	31,124
預け金	158,107	1,750
その他	382	342
流動資産合計	2,777,703	1,807,186
固定資産		
有形固定資産		
建物	15,699	15,699
減価償却累計額	△647	△910
建物(純額)	15,052	14,789
構築物	2,195	2,195
減価償却累計額	△1,977	△1,991
構築物(純額)	218	204
工具、器具及び備品	49,368	49,995
減価償却累計額	△35,556	△36,611
工具、器具及び備品(純額)	13,812	13,384
有形固定資産合計	29,082	28,378
無形固定資産		
ソフトウェア	27,769	25,099
電話加入権	164	164
無形固定資産合計	27,934	25,263
投資その他の資産		
投資有価証券	2,511	2,424
出資金	30	30
敷金	18,237	18,025
差入保証金	1,019	1,019
長期前払費用	32	—
繰延税金資産	16,202	7,726
投資その他の資産合計	38,033	29,225
固定資産合計	95,050	82,867
資産合計	2,872,753	1,890,053

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	983,664	237,873
1年内返済予定の長期借入金	24,281	15,278
未払金	38,849	26,794
未払費用	59,607	32,879
未払配当金	—	5,596
未払法人税等	66,393	11,309
未払消費税等	30,037	30,843
前受金	150,505	161,466
預り金	6,899	23,793
賞与引当金	—	19,938
受注損失引当金	241	145
その他	—	1,784
流動負債合計	1,360,480	567,701
固定負債		
長期前受金	75,973	75,324
固定負債合計	75,973	75,324
負債合計	1,436,454	643,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,264	350,264
資本剰余金		
資本準備金	350,264	350,264
資本剰余金合計	350,264	350,264
利益剰余金		
利益準備金	165	165
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	902,081	868,739
利益剰余金合計	902,246	868,904
自己株式	△166,476	△322,405
株主資本合計	1,436,299	1,247,028
純資産合計	1,436,299	1,247,028
負債純資産合計	2,872,753	1,890,053

(2) 四半期損益計算書  
 (第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	603,391	704,039
売上原価	400,891	512,015
売上総利益	202,499	192,024
販売費及び一般管理費	132,417	144,276
営業利益	70,082	47,747
営業外収益		
受取利息	—	0
受取損害賠償金	—	3,000
雑収入	39	94
営業外収益合計	39	3,094
営業外費用		
支払利息	100	43
保証料	44	118
支払手数料	142	389
投資事業組合運用損	79	79
損害賠償金	—	2,860
営業外費用合計	366	3,490
経常利益	69,754	47,351
税引前四半期純利益	69,754	47,351
法人税、住民税及び事業税	16,580	8,669
法人税等調整額	7,078	8,476
法人税等合計	23,659	17,145
四半期純利益	46,095	30,205

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年9月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式259,800株の取得を行いました。この結果、当第1四半期累計期間において自己株式が155,928千円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が322,405千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,826千円	4,002千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	セキュアクラウド システム事業	エモーショナル システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上 高	598,537	4,854	603,391	—	603,391
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	598,537	4,854	603,391	—	603,391
セグメント利益又は 損失 (△)	152,518	△4,272	148,245	△78,163	70,082

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△78,163千円は、報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	セキュアクラウド システム事業	エモーショナル システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上 高	698,294	5,745	704,039	—	704,039
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	698,294	5,745	704,039	—	704,039
セグメント利益又は 損失 (△)	134,871	△6,854	128,017	△80,270	47,747

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△80,270千円は、報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。